

わたしたちの君津市立中央図書館 開館15周年記念

15歳の図書館の これからを考えよう。

「市民と図書は支え合う友人／図書館友の会きみつ」

日時 11月12日(日) PM1:30~3:30

おはなし 中央図書館の設計者 寺田芳朗 日本建築家協会会員登録建築家/日本図書館協会会員

株式会社 寺田大塚小林計画同人 代表 / 図書館友の会きみつ会員

ホームページ http://www.geocities.jp/tokdojin

1. 中央図書館（地域情報センター）とは何か、話し合ったところ

- ・ 全域奉仕とBMの理念があって「図書館って何?」：図書館のサービスを夢見て
- ・ 設計競技/基本設計「地域情報センターって何?」：研究成果は「基本設計書」→4528㎡「すべてを図書館としてしつらえる」方針：サービスと環境のかたちの記録

資料 P 1
資料 P 2

資料 P 3

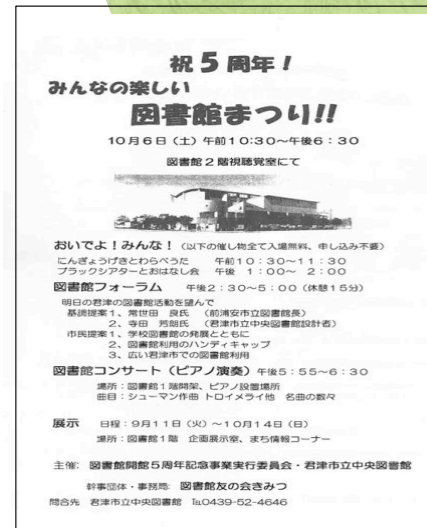
2. 中央図書館開館5周年、10周年の会、みんなで確かめたこと

(5周年) 「明日の君津の図書館活動を望んで」 図書館サービスの進む方向(常世田) 施設は利用され輝く(寺田)+3市民提案

(10周年) 「私たちの図書館」今、伝えたい、楽しさ、豊かさ、可能性を(常世田)+ 図を考える会、ポブラ文庫、友の会きみつ

→想いのバトンリレー「君津図書館の物語りを記す」：10周年記念誌(拙文寄稿) 資料 P 4

そして、いつも、
開架室のコンサート。
みんなで、
「ふるさと」合唱。



3. 開館15年、計画当初のもくろみを確認、20歳の姿を考える。

- 実質25万冊の開架、4528㎡施設は、分不相応に大きすぎたか。
 - ・ いま中央館計画は、ようやく6000㎡&20万冊時代。・ 座席数は。・ 書庫限界は。

資料 P 1

- それぞれの主題の棚、資料世界の魅力は、時代の要求への感度は。

・ 地域行政資料/行政支援に再脚光 (君津でお話しされた根本彰.著「続・情報基盤としての図書館」資料 P 5 →片山善博.共著「地方自治と図書館 知の地域づくりを地方再生の切り札に//民主主義社会における図書館のミッション」)

資料 P 6
資料 P 7

- ・ サービスの見直し：君津市自動車図書館と縁の深い、多摩市立図書館44年目の基本構想
- ・ 特設コーナー (南相馬図ほか「原発/憲法/震災放射能/平和」表現と収集の相関)

資料 P 6
資料 P 7
資料 P 8

- 居心地、居場所、活動と場の自由度は。(フリースペースの意味)

・ ティーンズとの向き合い、場の提供(「溜まり場、交流、表現、創作、メカスペース」)

資料 P 8
資料 P 9

・ ティーンズYAに求められるフリースペースのかたち(塩尻、多良見、南相馬/声、)

・ 自由会合机、PC、印刷機、展示機能、市民活動支援機能、市民活動に自由な場を。

資料 P 8
資料 P 9

→2F旧地域情報制作室や緑陰の野外テラス：魅力的ゆるやかな使い方を研究しては?

→3F研究回廊諸室を、郷土研究者、経営者起業者、学校教育集団：供用研究しては?

資料 P 8
資料 P 9

- ギャラリーウォーク計画は。(中心市街地活性化16のレディンガポイント外として)

・ 官製の市街地活性化計画維持のむずかしさ(学校幼稚園にまかせた多良見図書館では)

資料 P 9

・ 情報ショーケースは、今流行のデジタルサイネージの先駆け。市政情報や企業広告を。

資料 P 9
資料 P 10

- アウトリーチサービス、自動車図書館は。(出向く、届ける意味)

・ 学校、幼保園、病院、ケアハウス、企業、避難施設、地域拠点：統計→効果検証→サービス・イベント再編へ

資料 P 10
資料 P 11

→君津図書館が応援をして、南相馬市の自動車図書館が一年半前にスタートしました。

資料 P 10
資料 P 11
資料 P 12

<春に頂いた質問へのご参考資料>

- 学校図書館を知るとき役立つ資料は。(図書館と学校の連携/他市との比較資料)

・ 学校図書館支援に関係してまとめている統計資料(伊万里市民図書館→図書館協議会)

資料 P 12
資料 P 13

・ 12cl3校に司書常置。他の小中に学校司書巡回派遣(南相馬市中央図書館が運営)

<春に頂いた質問へのご参考資料>

- 図書館への指定管理者制度導入への評価と国の動向は。(新聞/雑誌)

・ 2017.02.衆院総務委質疑資料：政府が図書館へのトップランナー方式導入見送り。

資料 P 14

・ 2017.05.指定管理者制度の研究3論文の発刊：君津図プロボ審査委員.大澤正雄氏他